

大日本帝國政府

大藏省 外資局長 殿

本邦及南方陸軍地域間郵便爲替取扱開始ニ  
關スル件

首題ノ件ニ關シ軍ヨリ別紙第一號寫ノ通照會アリタルニ對シ別紙第  
二號寫ノ通回答相成候條御了知相成度候  
追テ本件ハ五月一日ヨリ實施セララルルモノニ有之

貯業第四一四號

昭和十九年四月廿二日

通信院 貯金保險局長

大日本帝國通事

及香港古贈此ハ、海關監督取好ハ并ナリ  
附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ帝國古贈南洋支那此  
(參照)

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス  
本令ハ公市ハ日ヨリ之ヲ施行ス

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス

附味十八年二月十六日 駐劄省令第十六號ハ之ヲ通知ス





大日本帝國通則

此法は、  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、  
 十一、  
 十二、  
 十三、  
 十四、  
 十五、  
 十六、  
 十七、  
 十八、  
 十九、  
 二十、

大日本帝國政府

三、金額ノ表示、受拂通貨  
 爲替目録書ノ表示貨幣ハ圓トシ現地ニ於ケル受拂通貨ハ南方開發金  
 庫券又ハ現地通貨トス

四、金額制限  
 最高額ハ千圓トシ圓位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ズ

五、送金制限  
 内外地振出ノモノニ付テハ内外地ニ於ケル爲替管理ノ方針ニ據リ現  
 地振出ノモノニ付テハ各軍ノ爲替管理ノ方針ニ據ル

六、證書ノ有効期間及時效  
 證書ノ有効期間ハ發行ノ日ヨリ百二十日トス、有効期間經過後三ヶ  
 年ヲ經過スルモ爲替金ノ拂渡又ハ拂戻請求ナキ場合ハ爲替金ハ振出



大日本帝國通則

平々... 出... 合... 替... 一... 大... 替... 持... 六... 金... 内... 持... 主... 共... 返... 現... 地... 管... 理... 廳... 二... 於... テ... 月... 次... 計... 算... 書... ヲ... 貯... 金... 保... 險... 局... 宛... 送... 付... ス...  
ハ其ノ差引金額ニ付日銀代理店トノ間ニ日本銀行便資金又ハ過超金  
受授ノ例ニ依リ之ガ受授ヲ爲ス(翌月末迄ニ之ヲナスコト)ト共ニ  
月次計算書ニ日本銀行便資金又ハ過超金計數票ヲ添附シ貯金保險局  
宛送付ス  
現地管理廳ニ於テ月次計算書ヲ貯金保險局ヨリ受領セル場合ニ於テ  
モ前項ト同様ニ其ノ差引金額ニ付日銀代理店トノ間ニ之ガ受授ヲ爲  
シ日本銀行便資金又ハ過超金計數票ハ最近便ヲ以テ貯金保險局ニ送  
付ス

大日本帝國政府

十、式紙類及用語

大日本帝國通則

十、左減讓及用語...  
日本銀行貯蓄金又ハ鐵道金信憑票ハ最並動キ以テ預金貯蓄額ニ係  
テ前取ト同額ニ其ノ禁居金際ニ付日給升取取トノ間ニ之ヲ受貯キ置  
ル此等懸離ニ付モ且夫信真書ヲ預金貯蓄額ニ付受貯シテ鐵道金信憑  
票受貯トスルニ付モ且夫信真書ハ預金貯蓄額ニ付受貯シテ鐵道金  
信憑票ニ付モ且夫信真書ニ日本銀行貯蓄金又ハ鐵道金信憑票ヲ添附シテ預金貯蓄額  
受貯ノ附ニ付リ之ヲ受貯キ置ルハ登且末迄ニ之ヲナスロイノ共ニ  
ハ其ノ差居金際ニ付日給升取取トノ間ニ日本銀行貯蓄金又ハ鐵道金  
信憑票ニ付モ且夫信真書ヲ預金貯蓄額ニ付受貯シテ鐵道金信憑票  
ニ付モ且夫信真書ニ付モ且夫信真書ニ付モ且夫信真書ニ付モ且夫信真書

大日本帝國政府

現地振出ノ振出請求書及目錄書ハ別紙ノ通トシ、現地發行ノ爲替證  
書ハ各軍政地域内ノモノト同一トス  
振出請求書ニ記載スル文字ハ日本文字、「ローマ」字綴又ハ「マラ  
イ」語トス（私用通信文ハ郵便ニテ使用ヲ許可サレタルモノニ限ル）  
日本文字ノ記載ナキ場合ハ振出管理廳ニ於テ日本文字ノ對譯ヲ附ス  
金額欄ニ記載スル文字ハ日本文字又ハ「アラビヤ」數字トシ日本文  
字ノ記載ナキ場合ハ振出管理廳ニ於テ日本文字ヲ記載ス  
爲替目錄書ノ記載文字ハ日本文字ノミトス但シ金額欄ハ「アラビヤ」  
數字トス

十一、特殊取扱  
拂渡濟通知、拂渡濟否取調、同一地域内拂渡局變更、拂戻、再度證





大日本帝國通則

十四 車站照會

内務省、鉄道省ニ對シテ、車站ノ照會ハ當分、内務省公用紙空欄用ニ對シ

テ、

一、照會目録書及中央照會書ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

十三 書籍ノ發受

一、書籍ノ發受ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

一、發出請求書、

十二 印刷紙計文

一、印刷紙計文ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

一、印刷紙計文ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

一、印刷紙計文ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

一、印刷紙計文ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

十五 照會文書ノ管理廳經由

一、照會文書ハ、受持管理廳ヲ經由シテ之ヲ爲スコト

十六 通知書

一、通知書ハ、軍車公用紙空欄用紙ニ對シテ、

十七 其ノ他細部ニ關シテハ、

大日本帝國政府

大日本帝國通則

「電信爲替」

一、交換方式（拂渡局無指定式）

爲替電報ハ和文電報ノミトシ振出局ヨリ爲替局報トシテ一般電報ノ爲替電報ノ例ニ依リ傳送ス其ノ様式ハ現地振出ノモノニ付名宛局ヲ指定セザルコトノ外内國爲替電報ニ同ジ

二、料 金

現地振出及ノ料金ハ左ノ通トス

一〇〇圓迄	七圓	八圓五〇錢
三〇〇圓迄	八圓五〇錢	一〇圓
五〇〇圓迄	一〇圓	一一圓五〇錢
一〇〇〇圓迄	一一圓五〇錢	一三圓

マライ、スマトラ、ジャワ振出  
ボルネオ振出

七圓

八圓五〇錢

八圓五〇錢

一〇圓

一〇圓

一一圓五〇錢

一一圓五〇錢

一三圓

大日本帝國政府

十四、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

十五、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

十六、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

十七、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

十八、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

十九、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十一、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十二、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十三、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十四、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十五、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十六、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十七、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十八、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

二十九、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十一、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十二、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十三、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十四、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十五、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十六、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十七、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十八、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

三十九、其ノ附屬諸ニ關シテハ、總主管職ニ列セザルニテ、

大日本帝國通則

1,000圓迄	11圓50銭	13圓
500圓迄	10圓	11圓50銭
300圓迄	8圓50銭	10圓
100圓迄	5圓	8圓50銭

本國水陸出  
マモト、スワイモ  
シヤロ出

一 交際式友(將士同無許友)  
二 採金  
三 取扱局  
四 通知事項  
五 其ノ他ハ通常爲替ノ取扱要領ニ準ズ但シ月次計算書ニハ拂濟電信爲替ノ爲替金額及爲替證書記番號ヲ記載シタル目錄書(通常爲替目錄書代用)ヲ添附スルコトヲ要ス

大日本帝國政府

三 取扱局  
現地ニ於ケル電信爲替取扱局、和文電報取扱郵便局及和文電報取扱電信局所在ノ郵便局トシ各軍ニ於テ之ヲ決定ス

四 通知事項  
現地ニ於ケル電信爲替取扱局及其ノ記號ハ各軍ヨリ貯金保險局宛通報ス

貯金保險局ハ郵便局所記號番號簿、遞信法規類纂爲替貯金篇各二部ヲ各軍宛送付スルコト

五 其ノ他ハ通常爲替ノ取扱要領ニ準ズ但シ月次計算書ニハ拂濟電信爲替ノ爲替金額及爲替證書記番號ヲ記載シタル目錄書(通常爲替目錄書代用)ヲ添附スルコトヲ要ス





大日本帝國勅諭

其 附  
當次ノ内内長官出資ニ付テハ、  
各州内ニ付テ、  
受取人ニ付テ、  
同一州内ニ付テ、  
各府管界ニ付テ、  
再頒布  
付テ交付不備ノ旨、  
出資管界ニ付テ、

別紙第二號

貯業第三五〇號

昭和十九年四月十九日

通信院總總裁

陸軍次官殿

本邦及南方陸軍地域間郵便爲替取扱開始ニ關スル件

三月九日附陸軍密第一八五一號ヲ以テ御來照相成候首題ノ件、  
件異議無之候

追テ本件取扱ノ細部ニ關シテハ、  
直接主管廳相互間ニ協議ノ上決定可  
致候條御了知相成度候

大日本帝國政府